



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 18 年 2 月 17 日

上場会社名 明治海運株式会社
 コード番号 9115
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 内田 和也
 問合せ先責任者 役職名 経理グループ長 氏名 水野 敏郎

上場取引所 東・大
 本社所在都道府県 兵庫県
 TEL (03) 3792 - 0811

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	11,070	17.8	1,456	53.7	2,736	1,139.4
17 年 3 月期第 3 四半期	9,397	△12.9	947	△43.9	220	△77.6
(参考) 17 年 3 月期	12,567		1,340		537	

	四半期(当期)純利益		1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	997	4,270.2	30.40		—	
17 年 3 月期第 3 四半期	22	△90.1	0.69		—	
(参考) 17 年 3 月期	76		1.72		—	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における世界経済は、中国の依然として高い設備投資に引っ張られ、緩やかな回復基調にありました。台湾、フィリピン、マレーシア等その他アジア地域においても外需を中心に景気は回復しました。ユーロ圏においては輸出や生産が増加するなど企業部門を中心に回復しています。アメリカにおいては一時的にハリケーンの影響を受けたものの、当第 3 四半期末には経済数値もハリケーン前の水準に戻り、総じて世界経済は着実に回復しました。

一方わが国経済も企業収益の改善、設備投資の増加、個人消費の増加と景気回復が目に見えるようになってきています。しかしながら、ここきての原油の高騰は内外の経済に打撃を与えかねない状況ではありますが、緩やかな回復基調は続くと思われれます。

このような経済環境の中、当社グループでは、中・長期用船契約を主体としております外航海運業を中心に、ホテル業、不動産賃貸業他を含め安定した収入を確保し、持分法適用会社において、所有船舶 2 隻の売却を行い利益を計上しました。以上の結果、当第 3 四半期では連結売上高は 11,070 百万円、営業利益は 1,456 百万円、経常利益は 2,736 百万円、四半期純利益は 997 百万円となりました。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	81,846	7,085	8.7	215.86
17 年 3 月期第 3 四半期	70,783	5,013	7.1	152.92
(参考) 17 年 3 月期	71,150	5,090	7.2	154.43

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の総資産は前期末に比べ 10,696 百万円増加して、81,846 百万円となりました。これは主に、中型油送船、大型油送船各 1 隻の増加によるものであります。負債合計は、8,256 百万円増加して、70,620 百万円となりました。これは主に、設備投資に伴う借入金の増加によるものであります。また、株主資本は前期末に比べ、1,995 百万円増加して、7,085 百万円となりました。以上の結果、株主資本比率は、8.7%となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回発表通期(A)	15,100	2,280	3,170	1,160
前回発表通期(B)	15,080	2,020	2,880	1,130
増減額(A-B)	20	260	290	30

※1株当たり予想当期純利益（通期） 35円 34銭

（参考）平成18年3月期の個別業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回発表通期(A)	9,630	580	950	370
前回発表通期(B)	9,360	580	880	500
増減額(A-B)	270	—	70	△130

※1株当たり予想当期純利益（通期） 10円 28銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

第4四半期に関しましては、為替の動向、景気の減速等の不安材料はあるものの、これまでと同様、引続き堅調に推移するものと予想されます。なお、当期間中の税務調査の結果、納付を要する追加税額を見込み、個別業績予想を見直いたしました。結果としまして、連結業績予想においては、営業費用の減少が見込まれ当期純利益ベースでは、前回とほぼ同水準と予想いたしております。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年3月期第3四半期末)		前 期 (平成17年3月期)		増 減 金 額	前年同四半期 (平成17年3月期第3四半期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
現金及び預金	5,092		6,436		△ 1,343	6,740	
有価証券	1,000		500		500	500	
その他	1,137		982		154	846	
流動資産合計	7,230	8.8	7,918	11.1	△ 688	8,086	11.4
固定資産							
有形固定資産							
船 舶	42,324		33,589		8,734	34,473	
建物及び構築物	12,104		11,999		105	11,977	
土 地	7,078		6,516		561	6,127	
建設仮勘定	2,591		4,670		△ 2,079	3,595	
その他	167		193		△ 26	212	
有形固定資産合計	64,265	78.5	56,969	80.1	7,295	56,385	79.7
無形固定資産	129	0.2	167	0.2	△ 38	179	0.3
投資その他の資産							
投資有価証券	8,798		4,515		4,282	4,419	
その他	1,423		1,578		△ 154	1,711	
投資その他の資産合計	10,221	12.5	6,093	8.6	4,127	6,131	8.7
固定資産合計	74,616	91.2	63,231	88.9	11,384	62,697	88.6
資 産 合 計	81,846	100.0	71,150	100.0	10,696	70,783	100.0

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年3月期第3四半期末)		前 期 (平成17年3月期)		増 減 金 額	前年同四半期 (平成17年3月期第3四半期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債							
海運業未払金	464		332		132	390	
社債短期償還金	67		67		—	67	
短期借入金	10,928		11,631		△ 702	11,094	
賞与引当金	10		32		△ 22	10	
その他の	1,613		1,298		315	1,144	
流動負債合計	13,084	16.0	13,361	18.8	△ 277	12,706	18.0
固定負債							
社 債	1,866		1,899		△ 33	1,933	
長期借入金	49,462		42,339		7,123	43,096	
退職給付引当金	124		103		21	100	
その他の	6,082		4,660		1,422	4,333	
固定負債合計	57,536	70.3	49,002	68.8	8,533	49,463	69.9
負債合計	70,620	86.3	62,364	87.6	8,256	62,170	87.8
(少数株主持分)							
少数株主持分	4,140	5.1	3,695	5.2	445	3,599	5.1
(資本の部)							
資 本 金	1,800	2.2	1,800	2.5	—	1,800	2.5
資本剰余金	11	0.0	9	0.0	2	—	—
利益剰余金	3,126	3.8	2,286	3.2	839	2,269	3.2
土地再評価差額金	362	0.4	362	0.5	—	362	0.5
その他有価証券評価差額金	2,378	2.9	1,246	1.8	1,131	1,161	1.6
為替換算調整勘定	△ 6	△ 0.0	△ 36	△ 0.1	29	△ 6	△ 0.0
自己株式	△ 586	△ 0.7	△ 578	△ 0.8	△ 8	△ 573	△ 0.8
資本合計	7,085	8.7	5,090	7.2	1,995	5,013	7.1
負債、少数株主持分 及び資本合計	81,846	100.0	71,150	100.0	10,696	70,783	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年3月期第3四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期第3四半期)		増 減 金 額	(参考) 平成17年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	11,070	100.0	9,397	100.0	1,673	12,567	100.0
売 上 原 価	8,612	77.8	7,501	79.8	1,110	9,916	78.9
売 上 総 利 益	2,458	22.2	1,895	20.2	562	2,651	21.1
販売費及び一般管理費	1,001	9.0	947	10.1	54	1,311	10.4
営 業 利 益	1,456	13.2	947	10.1	508	1,340	10.7
営 業 外 収 益	2,601	23.5	225	2.4	2,376	296	2.4
営 業 外 費 用	1,322	11.9	952	10.1	369	1,099	8.8
経 常 利 益	2,736	24.7	220	2.3	2,515	537	4.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,736	24.7	220	2.3	2,515	537	4.3
法人税、住民税及び事業税	494	4.5	207	2.2	286	316	2.5
法 人 税 等 調 整 額	782	7.1	△ 122	△ 1.3	904	△ 110	△ 0.9
少 数 株 主 利 益	461	4.2	112	1.2	349	255	2.0
四半期(当期)純利益	997	9.0	22	0.2	974	76	0.6

3. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期

(単位：百万円)

	外航海運業	ホテル業	不動産 賃貸業他	計	消去又は 全社	連結
売上高	7,529	3,131	409	11,070	—	11,070
営業費用	6,692	2,733	187	9,613	—	9,613
営業利益	836	397	222	1,456	—	1,456

前第3四半期

(単位：百万円)

	外航海運業	ホテル業	不動産 賃貸業他	計	消去又は 全社	連結
売上高	6,020	3,014	361	9,397	—	9,397
営業費用	5,623	2,676	148	8,449	—	8,449
営業利益	396	338	212	947	—	947

- (注) 1. 事業区分の方法は、日本標準産業分類を参考に、役務の種類・性質の類似性を考慮して区分しております。
 2. 各区分に属する主要な事業・役務の名称
 外航海運業　船舶貸渡業・船舶管理業
 ホテル業　　ホテル業
 不動産賃貸業他　ビル賃貸業及び上記2区分の何れにも属さない事業
 3. 営業費用の中の共通費はすべてセグメント別に配賦しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期

(単位：百万円)

	日本	パナマ	シンガポール他	計	消去又は 全社	連結
売上高	10,413	4,280	2,521	17,215	(6,145)	11,070
営業費用	9,544	4,108	2,104	15,758	(6,145)	9,613
営業利益	869	171	416	1,456	—	1,456

前第3四半期

(単位：百万円)

	日本	パナマ	シンガポール他	計	消去又は 全社	連結
売上高	8,689	2,389	2,556	13,635	(4,238)	9,397
営業費用	7,549	2,973	2,164	12,687	(4,238)	8,449
営業利益	1,139	△584	392	947	—	947

- (注) 1. 連結会社の所在地によりセグメントを区分し、「日本」「パナマ」「シンガポール他」のセグメントを設定しております。
 2. 「消去又は全社」の欄は、すべて連結に係る消去であります。